

コラム：ダブルラインでトラブルに備える

インターネットを閲覧していると、突然サーバが無反応になることがあります。そのときどうやって対処するのが良いのでしょうか？

使用しているパソコンやスマホが原因なのか、無線LANか、それともウェブサーバ自身がダウンしているのか。それを、特定し別経路でのアクセスを確保するのが良いのです。

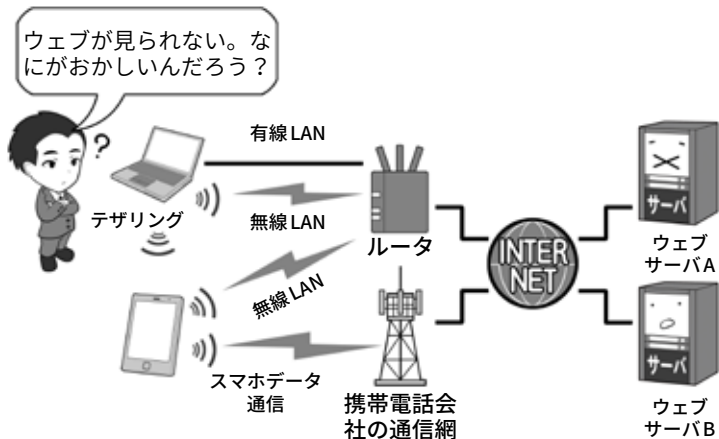
それには主要な機器の二重化(ダブルライン化)が有効です。パソコンで見られないならスマホで確認。無線LANがダメならば有線で。ルータがおかしいならLTEで、AというサーバがダメならばBへアクセスして、トラブルが解消した部位の機器を避けるなどの処置をしましょう。

また所有する特定の機器がマルウェアに感染したり、セキュリティホールが明らかになったアプリなどを避けてサービスを利用したりする場合も、同様の考え方になります。

特定の機種へのサイバー攻撃が流行っているなら別機種で、ウェブブラウザにセキュリティホールがあるなら別のブラウザで。問題があるものを避けて利用するわけです。

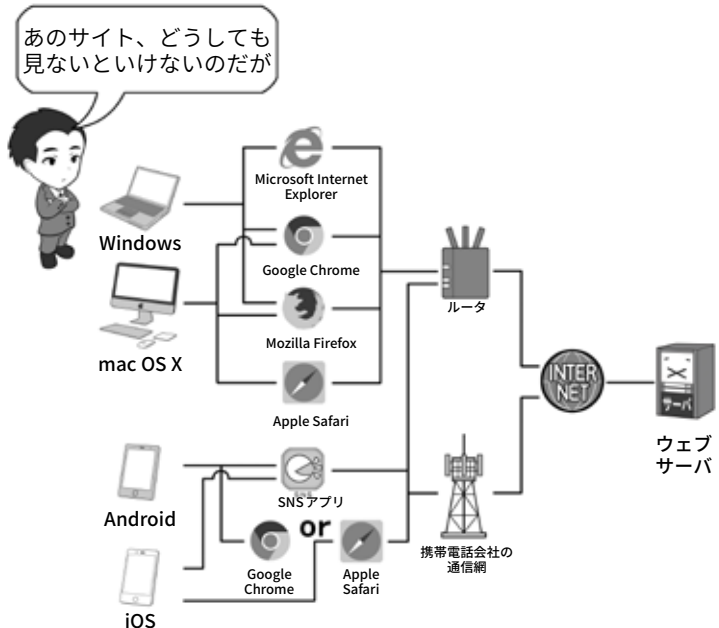
複数台の機材を持つ場合は、機材のタイプを分散することも備えとしては有効でしょう。生物界でも特定の品種に偏った生物は、一つの病気(ウイルスなど)で一気に絶滅に追い込まれる可能性があります。

通信状態がおかしいときに問題点を絞り込む手段



自分から見ると、インターネットのウェブサーバを見る機器、ルータまでの通信方法、インターネットまでの通信方法、そして目的のサーバまで切り替えることで、どの部分にトラブルがあるかを絞り込めます。なお全てを切り替えてもネットが表示されない場合は、しばらく時間をおいて確かめましょう。いずれかの場所で通信が集中し混雑して通信が出来なくなっている可能性があります。

パソコンがマルウェアに感染したり、ブラウザがセキュリティホールで使えないときの回避手段



Windowsにトラブルが発生したらmac OS Xで、特定のブラウザにトラブルが発生したら別のブラウザで、スマホのアプリにトラブルが発生したらウェブブラウザ経由で利用するなどの回避手段を設けるのも、一つの防御手段です。

ここでは簡略化して描いているため、上のイラストを含めインターネットの部分で二重化が収束してしまっているように見えますが、そもそもインターネットは通信経路上にあるサーバが攻撃で破壊されても、迂回して通信が確保されるようになっているので、通信が断絶するトラブルがあった場合、自然と迂回路が形成され通信が確保されるはずなんです。

雑草のような多様な環境を 作って、力強く備えましょう。